

数々の賞を
受賞したドキュメンタリー
TVでコミュニケーション
映画化!!

あの日、日本列島は「死の灰」で覆われていた!

放射線を浴びた

X年後

1954年、
南の海で水爆実験が行われた。
被ばくマグロは廃棄され、
漁師たちは病に倒れた。
その後、200万ドルと引き換えに、
すべての魚が日本の食卓にあがった!
「セシウム、機密文書、もろく砕けた人骨…」
見えてきたのは、X年後の驚くべき実態だった。

- 2012年 第86回 キネマ旬報 ベストテン 文化映画部門
- 第50回 ギャラクシー賞 報道活動部門 大賞
- 平成25年度 日本民間放送連盟賞 特別表彰部門 「放送と公共性」 最優秀
- 2012 メディア・アンビシャス大賞 映像部門
- 第40回 放送文化基金賞 放送文化部門
- 第一回 グリーンイメーজ 国際環境映像祭 大賞
- 第11回 世界自然・野生生物映像祭 審査員特別賞 JAPAN WILDLIFE FESTIVAL Special Jury Award
- 2012年度 日本映画ペンクラブ ベスト5 文化映画部門
- 第30回 日本映画 復興奨励賞
- 第4回 島・高円寺 ドキュメンタリー フェスティバル コンペティション部門 入賞
- ハワイ国際映画祭 2013 スプリングショーケース 正式出品

文部科学省選定 (青年向き・成人向き) 日本映画ペンクラブ推薦 カトリック中央協議会・広報推薦

監督:伊東英朗 ナレーション:鈴木省吾 朗読:保持卓一郎 企画:口羽則夫/宮部選 プロデューサー:大西康司 協力:日本テレビ「NNNDドキュメント」
Special Thanks:日笠昭彦 製作著作:南海放送 2012年/83分/HDCAM/16:9/カラー/日本/ドキュメンタリー <http://x311.info>



1954年アメリカが行ったビキニ水爆実験。当時、多くの日本の漁船が同じ海で操業していた。にもかかわらず、第五福龍丸以外の「被ばく」は、人々の記憶、そして歴史からもなぜか消し去られていった。闇に葬られようとしていたその重大事件に光をあてたのは、高知県の港町で地道な調査を続けた教師や高校生たちだった。その足跡を丹念にたどったあるローカル局のTVマンの8年にわたる長期取材のなかで、次々に明らかになっていく船員たちの衝撃的なその後…。そして、ついにたどり着いた、「機密文書」…そこには、日本にも及んだ深刻な汚染の記録があった――。

3.11後の日本に投げかける 衝撃の告発。

地方ローカル局が追った渾身のドキュメンタリー!

南海放送(愛媛県松山市)では約8年にわたり、これまであまり知られることのなかった「もうひとつのビキニ事件」の実態を描いてきた。地元の被災漁民に聞き取りをする高知県の調査団との出会いがきっかけだった。制作した番組は「地方の時代映像祭 グランプリ」「民間放送連盟賞 優秀賞」「早稲田ジャーナリズム大賞 大賞」など、多数受賞。2012年1月に「NNNDキュメント」(日本テレビ系列)で全国放送され反響を呼んだ「放射線を浴びたX年後」に新たな映像を加えた映画化。

ポイント解説

Point 1 ビキニ水爆実験
米国が1954年3月1日から5月まで、中部太平洋のマースラ米島でビキニ環礁で行った実験。キャッスル作戦と名付けられた諸島ビキニ環礁で行った実験。3月1日に爆発させた実験は6回(うち1回はエニウェトク環礁)。3月1日に爆発させた「アラボー」は広島に落とされた原爆の1千倍以上の破壊力があるとされ、近海で操業中の第五福龍丸(乗組員23人)が被ばく。同年9月、無線長の久保山登喜さんが死亡した。

Point 2 山下正寿と幡多ゼミ
元高校教師の山下正寿氏らが顧問を務める高校生ゼミナール(1983年設立)。高知県幡多地区の高校生が主体となり「足もたら平和と青春を」というモットーに、地域の現代史調査活動をしている。1985年から地域のビキニ事件を調査。その姿は映画「ビキニの海は忘れない」(1990年)で描かれた。

Point 3 NNNDキュメント [日本テレビ系列 毎週日曜24:50-放送]
1970年に放送を始めた報道ドキュメンタリー番組。42年間に2100本を制作。日本テレビでは3番目の長寿番組で、「文化庁芸術祭 大賞」「日本民間放送連盟賞 最優秀」「放送文化基金賞 本賞」などを受賞。キー局だけでなく日本テレビと系列29局が制作するのが最大の特徴で、地域に根ざした秀作が多い。

今こそ僕らは正しい日本の未来を手繰り寄せるためにも、例えばこの「X年後」を見なければ、体験しなくてはならない。これは貴重な日本と日本人の記憶です……

大林宣彦(映画作家)

日本は海で生きてきた国じゃないか。
海の底で死んだ数えきれない生き物たちの命を返せ!
おらんちの海を返してくれ!

早坂 暁(作家・脚本家)

ひとりの誠実な高校教師が不誠実な日本とアメリカの政府に対して抗議行動をしている。その映像は、日本全土が放射能の被害を受けていたという恐ろしい事実を観客に伝え、この誠実な高校教師を絶望させてはならない、と静かに訴える。

山田洋次(映画監督)

《推薦人多数》—— **鎌仲ひとみ**(映画監督) / **斎藤貴男**(ジャーナリスト) / **志茂田景樹**(作家) / **鈴木邦男** / **むのたけじ**(ジャーナリスト) 他

ナレーション:鈴木省吾 朗読:保持卓一郎 撮影:三本晴二/向井真澄 録音:山内登美子 ミキサー:山口誠 音響効果:番匠祐司 企画:口羽則夫/宮部選 特別協賛:大一ガス株式会社 協力:日本テレビ系列「NNNDキュメント」 Special Thanks:日笠昭彦 プロデューサー:大西康司 監督:伊東英朗 製作著作:南海放送 宣伝配給協力:ウッキー・プロダクション 宣伝美術:成瀬慧 映像協力:映画「ビキニの海は忘れない」製作実行委員会/「荒海に生きる」日本ドキュメントフィルム 写真協力:機関紙連合通信社/「第五福龍丸事件」焼津市 文部科学省選定(青年向き・成人向き) 日本映画ペンクラブ推薦 カトリック中央協議会・広報推薦 2012年/83分/HDCAM/16/9/カラー/日本/ドキュメンタリー 南海放送開局60周年記念事業

自主上映団体募集! お問い合わせ先:ウッキー・プロダクション(猿田) TEL:03-5213-4933 FAX:03-5213-4934 Mail:x@x311.info

<http://x311.info>

2024年1月27日(土)14:00(開場:13:30)

カトリック河原町教会 地下ヴィリオンホール

参加費:会場にて支援金をお願いします

お問い合わせ メール/seiheikyo@kyoto.catholic.jp

電話/075-366-6609 ⑩⑪⑫10:00~16:00

■主催/京都教区カトリック正義と平和協議会

今後の上映予定

■放射線を浴びた X 年後Ⅱ「父はなぜ死んだのか？」
7月20日(土)14:00

■放射線を浴びた X 年後Ⅲ
「サイレント・フォールアウト～乳歯が語る大陸汚染～」
11月16日(土)14:00